

# 第26回企画展「保井コノ-讃岐が生んだ日本初の女性博士-」

期 間 : 2023年7月21日(金)~11月18日(土)

休 館 日 : 日・月曜日、祝日  
8月11日(金・祝)~8月18日(金)  
※10月8日(日)、10月29日(日)、  
11月3日(金・文化の日)は特別開館

時 間 : 10:00~16:00

会 場 : 香川大学博物館展示室

入 館 料 : 無料

入 館 者 : 1,173名

主 催 : 香川大学博物館

後 援 : 東かがわ市、香川県教育委員会、東かがわ市教育委員会、  
高松市教育委員会

協 力 : お茶の水女子大学歴史資料館、東京大学総合研究博物館、  
(独)国立科学博物館、雨滝自然科学館、多田 昭、田山 泰三

協 賛 : 株式会社富士クリーン、四国放送株式会社

## 第26回企画展実行委員会 :

篠原 渉(香川大学博物館副館長、教育学部准教授)、寺林 優(香川大学博物館長、創造工学部教授)、伊藤文紀(香川大学博物館副館長、農学部教授)、松本由樹(香川大学農学部准教授)、吉澤樹理先生(香川大学教育学部准教授)、小宅 由似(香川大学創造工学部助教)、村尾佳範(香川大学博物館)、井上幸恵(香川大学博物館)

## 内 容 :

保井コノ氏は、(1880-1971)は、現在の香川県東かがわ市三本松で生まれ育ち、香川県立尋常師範学校(香川大学教育学部の前身校)で学び、1898(明治31)年に卒業後、女子高等師範学校(現 お茶の水女子大学)に進学しました。1906(明治39)年に日本初の女性科学者の科学論文を「動物学雑誌」に、1911年(明治44)年に日本女性として最初の学位論文を外国雑誌に発表した。1914~1916年にアメリカに留学し、シカゴ大学とハーバード大学で学びました。石炭の成因を研究し、「日本産石炭の植物学的研究」としてまとめ、1927(昭和2)年に東京帝国大学理学部に学位請求し、日本における女性博士第一号になった。保井コノ氏の生涯と研究に取り組んだ姿勢について、標本資料等を通して紹介しました。また、展示解説の他、関連行事として学内外でのミュージアム・レクチャーを開催しました。



主催: 香川大学博物館  
後援: 東かがわ市、香川県教育委員会、東かがわ市教育委員会、高松市教育委員会  
協力: お茶の水女子大学歴史資料館、東京大学総合研究博物館、(独)国立科学博物館、雨滝自然科学館、多田 昭、田山 泰三  
協賛: 株式会社富士クリーン、四国放送株式会社

# ■展示内容



## ■ オープニングセレモニー(テープカット)

会期初日には、オープニングセレモニーを開催した。香川大学長挨拶、東かがわ市長祝辞に引き続き、テープカットを行いました。

日時:2023年7月20日(木)15:00~15:50

場所:香川大学博物館(高松市幸町1-1北キャンパス内)

参加者:30名

テープカット参列者

上村一郎(東かがわ市長)

笥善行(香川大学長)

寺林優(香川大学博物館長)

展示解説

篠原涉(香川大学博物館副館長、香川大学教育学部准教授)



寺林館長 挨拶



上村市長 挨拶



テープカット



篠原副館長 展示解説